

磐城春秋

號八・七十四第

行發 磐城 市平 電話 四四七
社秋 町市 電話 四四七
八六番 入行 電話 四四七
入刷印 所 電話 四四七
水 所 電話 四四七
所 電話 四四七
(行發 曜土週毎)
【圖壹部一價定】

青年に待つ

一九四七年の新春は豫定の如く来た。日月の運行は寸分の狂ひもない。年頭に立つて前途を見渡すと経済、政治あらゆる面に妖雲が暗澹として吾等の希望の光を遮つて横はつてゐる。今年こそ敗戦のうきめを身に徹して味はなければならぬ。容易ならぬ年である。物資の不足と通貨の膨脹とが國民の生活をインフレの嵐の中に捲き込むやうな危機が襲来するかも知れぬ。三月以降行はれるであろう各種の選挙は日本再建のために國民をいかに導いてゆくべきかといふ課題を解く鍵でなければならぬが國民生活のかく迄に急迫してゐる際であるが故に果してそれが具合好くゆくかどうか大きな問題である。農村では農地の解放に依つて地主が顛落の運命にあり都市では官吏職員等の月給取階級が顛落して一般勤勞者階級が生活の餘裕を持ち経済復興は吾等の手でいふ自覺に迄到達しつつある。金利等で坐食してゐた人達の生活は急角度に急進してゐる。正に大きな社會革命だ。此社會革命の完成は現在行はれてゐる経済デフレとより一步前進して政治デフレに迄もつてゆかなければ地方中央を問はず勞働運動の面に於ても偉大なる指導

力を持つ政治家の出現を待つ今日より甚しきはない。政治とは理論闘争ではない。破壊すべきものは破壊して社會の趨勢と人情の機微を認識して民衆を指導してゆく事である。好い政治が行はれるためには民主國家に於ては正しい選挙が行はなければならない。正しい選挙は選挙民の自覺から出發する。選挙民の自覺は啓蒙運動に待たねばならぬ。市會や縣會に誰が出ようか市長が誰にならうと自分達の生活に何のかかはりもないといふ考へ方が從來は多かつた。しかし民主主義の政治は上からの支配の政治でなくして横の話し合ひの政治であり民衆と直結する。教育も經濟も政治的解決なくしては砂上の樓閣である。此意味で本年度の平市及郡の連合青年團の活動を切望する。官僚に支配されず独自の立場に立つて廣い意味の啓蒙文化運動に乗り出さなければならぬ。明治維新も青年の手でできてゐる。大化の政新も新しい留學生の知識をとり入れ青年中大兄皇子や藤原鎌足などの手で行はれてゐる。本年の妖雲をとりはらふ途は正しい好い政治の實現以外に方法はない。生計困難による自殺者も出で、活潑なる勞働攻勢の氣勢もあが、保守陣營の反響もあれ、血

赤いか青いか？ やりをどり

五十三次
市川右大衛門
喜多川千鶴
(新メロ)
月形龍之助
伊志井寛
(新生新選)

第二回 卓球大會

卓球部
役員主催の第二回平市卓球大會が一月十二日午前八時より(男子部)正午から(女子部)に分けて開かれる。會場は平第三國民校。申込は一月十日正午迄スポーツ聯盟卓球部宛
方法は男子女子に分けてトナメント(日卓制定ルール)資格 市郡在住者。抽せんは一月十一日午後一時、平第三校事務室に於て。団体申込は代表者



追放
ものが校正の折に逆になつたのであるから改めてこの欄で訂正しておく。あの記事はお互にかけの方でぶすくいつてゐるから附者のいひ分をかまはずに活字にしておくが、その反省を見たのであるが指導性がないと不徹底だとか非難を受けた。私は内容的に好いかけ

新聞用紙の危機

日本新聞聯盟 永野孝夫
福島縣運管委員

昭和22年度の新聞が遂にタブロイト型になつた。關西地區はタブロイト型の半截と云ふ。實に新聞の使命が八頁建を主張した當時を想へば感無量である。石炭のゼネスト、輸送其他の理由で用紙は愈々危機を迎へた。これを突破すべく新聞聯盟では、わたたまらず北海道に約一ヶ月の交渉を開始して遂に石炭一万吨を獲得した。これで苦小牧および釧路王子製紙工場は新聞用紙に關する限り何等の懸念なく製紙出來る道が開けたのである。但し新聞紙の石炭はなく、乳幼児の爲にミルクを製造する石炭もなく、テナサイ糖を製造する爲の石炭もないから砂糖大根は十勝平野に山と積まれ腐敗しつつある現状である云々。

新春に誕生 銀座街親和會

本市の中心をなす田町銀座街では新春を期し銀座街親和會を結成して模範股販街としての發展に協力する事になり、會長は眞根井嘉門氏副會長は森川泰一郎氏

新刊紹介

「ゲーテ・生活と作品」 舟木重信著
ある作家の作品を正しく理解する爲には、その作家の生活を知ることが必要であり、その場合には彼の社會性を見守ることが不可避的に重要である。著者は後記に記してゐる。今や、ゲーテの作品は一層多く讀まねばならぬ。この種の著書はゲーテを知らうとする若き人々への、この上なき贈物となるだらう

人生劇場 (愛慾篇) 尾崎士郎著
(B6二九六頁、二十二圓初版、創藝社)

「人生劇場」(愛慾篇) 尾崎士郎著
尾崎士郎の代表的作品である長篇「人生劇場」の愛慾篇が出た。人間はそれ、何等かの役を振り當てられて活動してゐる役者であり社會とはその劇場である。喜劇を見て泣く者もある。さうし悲劇を見て笑ふ者もある。然しそれ等の人々も同じく人生劇の一幕を演じてゐるに過ぎないのだ。そして人間にとつて愛慾の問題こそ色々な意味での人生の焦点であらう。(B6四四三頁、二十八圓初版、コバルト社)

株式会社ホシ薬舗
平市三丁目五
電話四二九番

31日—6日
カサブランカ
CASABLANCA
ランカ
1943年度 アカデミー賞獲得
平 世界館 電話58番

謹賀新年

貴族院議員

平商工會議所會頭

諸橋久太郎

代議士

星 一

山崎與三郎

縣會議員

蓮沼龍輔

縣會議員

關内正一

鈴木辰三郎

平市會議長

萩原義雄

平市會副議長

永山勇吉

大井川幸隆

平市 仲町
電話一九三番

酒井 保

平市 南町
電話五五番

政治ゼネストへの發展

大内 近 雄

1、春季攻勢

國鐵、海員のゼネストを皮切りにして十月には至炭、新聞、東芝、電産、教員と其の他大小のストライキの波はたかまつた

吾がこゝ磐城の天地にも澄み切つた秋空の下、平驛に東北配電に、日炭に、學校に、各炭礦に革命歌のコーラスが聞え街の電柱、屏壁等はいたるところハリビラをもつてうづめられた

この春のメーデーの場合の様に萬を數へる大衆動員による示威の華やかさこそないがなにかもつと力強い威力を感じずにはゐられなかつた

一八年前のわが常盤の労働運動時代から考へれば正に今昔の感がある

終戦後の吾が労働運動は、五月のメーデーを最頂點とし巨大な團結のたかまりを示した

この春季労働攻勢の壓力にあつたと云つてもよい

か、當時に於ける労働組合は、未だ全国的ゼネストを闘ふまでの陣容はとゞのへてなかつたし、労働階級の意識もそこまで確固たる生長してゐなかつた

が僅か数ヶ月の間に、實際に全国的ゼネストを以つて闘ひ得る労働組合が續々と生れ、基本産業の労働者は次々とゼネストを敢行してゐる

2、十月攻勢
メーデー以後表面上からの労働攻勢の一時的退潮は決して労働階級の後退ではなく、二歩前進のための一歩

可能である。指導者の一本の指令でゼネストができるものと考へてゐるとしたら真にコックレイ千萬である

4、政治ゼネスト
八月後のゼネストの波は電産争議の解決で一つの波頭を越えた

5、政府の反動攻勢
けれども資本家といへども決してかゝる状態に安閑としてゐるわけではない

3、ゼネストの意義
わが労働階級のこのめざましい覺醒と躍進振りが保守反動の陣營に多大の恐怖と脅威とを與へてゐることはいふまでもない

2、十月攻勢
メーデー以後表面上からの労働攻勢の一時的退潮は決して労働階級の後退ではなく、二歩前進のための一歩

1、平
平公會堂通り

四十七年を迎へて

ただ働き抜くの年

酒 井 保

「働かねば食へない……」とは終戦後よく聞く言葉ではあつたが、多數國民は果して働いただらうか

生産は振はず、賠償はせねばならぬ、戦災復興は急がねばならぬ

急高騰してゐる。生活危機は眞に重大化して來た

舞はれ、家の離散集合、組織の分解現象等々必然性に巻き起り、所謂ドン底生活にたゞき込まれると豫想されてゐる

下ではどうにもならない

一体日本人は生きて行かれないのか？

働けるもの(青年)の一大反省を要する時ではなからうか

住み且つ着なければならぬ

食ふことを考へるより先づ働かざるを先にしたと云ふ

星製薬株式会社

福島工場

平市五丁目二八

カメラ
高價買入 平市茂木カメラ店

タペシリン軟膏
御注文ニ應じます

釜屋商店
平市五丁目

平 會 館
平市三丁目

百澤機械店
平市四丁目(府前)

割喜代川
清野 竹子

文房具部
平市番町一(舊機關車)

坂本紙店
平市一丁目

新設裁断速成科二ヶ月
入學期 毎月初

星製薬株式会社

福島工場

平市五丁目二八

カメラ

タペシリン軟膏

釜屋商店

平 會 館

百澤機械店

割喜代川

文房具部

坂本紙店

新設裁断速成科二ヶ月

道理の軌道に乗せよ 投げ碁とすする勿れ

大 森 勇

若い頃碁に熱中した事があつた。食卓の上の茶碗や汁椀を眺めて布石を考へたり、仰向けに寝てゐると天井の裏板が碁盤に見えて、その節穴を見て目だたと喜んだりしたりしたものだ。負けたりした目も、勝つて来た目も、音が陽気だし、敗けて来た顔が笑はれた。幾度も幾度も敗けたあとで、一つの眞理を發見した。碁は柔道や剣道の如く修養である。云ふ事だ。その理由は、敗けて相になると周章で出して、先々の見通もつけないで投機的な石を打つたり、これ位は敵も気がつくまいと當にならぬ事を當にして胡蝶石を打つたりして、その結果中押で敗けてしまふのだ。冷静になつて盤中を隅から隅迄見渡して、一石毎に熟考計算して打つと、敗けたと思つたのが案外勝つ事があるし、同じ敗けるにしても損害を少くして收拾されるものだが、人生も亦碁の如きもので、何か失敗すると周章で出して、投機的な石や胡蝶石を打つて、失敗が二乗三乗されて、急テンポで谷底迄墜落してしまふものだが、冷静になつて、一舉一動を軌道に乗せて積み上げると、禍を轉じて福となすと云ふ所迄は行かなかつとも、頽勢を挽回して立ち直るものだからである。さて我が國の現状を見るに、この石もその石もあの石もこの石も目を持たないで追ひ廻されてる様

胞が手を握り合つて、一舉一動を道理の軌道に乗せて、整然として退却すれば、敗戦日本の立ち上る機会を掴み得ると信ずる。今年も昨年よりも、いやな症状がまた續出するかも知れぬ。一難加れば十の力で我ん張らなければならぬ。十難加れば百の力で踏ん張らなければならぬ。太陽が限りなき慈愛の光を抱いて、毎朝鎌田山から昇る間は、生物は碁を投げるには及ばぬのだ。道義日本平和日本文化日本建設のために、邪道を捨てて、繁榮の道を光明の世界に進まうでないか

週間録音
▽郡下の農地委員選挙は平市他十三ヶ町村が無競争、日農系は三百四十名の定員に對し約五十名當選、小川村は自作と全部當選したが警備村は三名の候補を立て三名とも落選してゐる。▽常磐石炭礦業連盟は資本家陣營擁護の立場に立つて去る九月に發足したが十二月二十日大日本勿來炭礦が常磐炭礦が待遇改善に對し聯盟の申合せを破つた事、理由とし退脱の意を表明した。

謹賀新年 瀧口 豊 工場 平市福宜町 電話 五五六番 自宅 平市五丁目 電話 二九〇番	川和徳一 平市南町	川徳興業部 時計とメガネ 誠光 堂 平市田町銀座通	山田文一 商店 平市十五丁目 電話 二六二番	尼子亭 平市新町四三 電話 三三〇番	マルサ食堂 平市二丁目 電話 二七一番	石炭商 原田庄一 好間村上好間字堂田 野田 食堂 方	常磐交通株式會社 平市駅前 電話 三四三番	警備貨物自動車株式會社 専務 強口唯七郎 平市田町十九 電話 二八二番	平地區配給 統制組合 電話 六四九・八〇四番
--	---------------------	--	-------------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	---	------------------------------------	--	----------------------------------

シベリア化粧料代理店 鱗與支店 橋本義司 平市四丁目 電話 四〇一番	東北配電株式會社 平營業所 平市五丁目二〇	平料理店 組合 平市役所 助役 佐藤信雄	石城郡内金融團 阿康藥局 平市田町銀座街 電話 四四四番	西村屋藥舖 平市二丁目 電話 三三番	マルトモ 書店 電話 二三四番	マルトモ 食堂 平市四丁目 電話 一三三番	マスヤ商店 蛭田利光 平市長崎町 四十 電話 十五番	茂木カメラ店 茂木 茂 平市三丁目
--	---------------------------------	--	---	---------------------------------	---------------------------	------------------------------------	---	--------------------------------

西島洋行 電話 三九九番	藤浪電機工業所 平市白銀町二番地 電話 八八二番	田邊製作所 平市福宜町三十四番地	瀧川電氣商會 平市仲町一四 電話 五八三番	世界館 平市白銀町 電話 五八番	聚樂館 平市一丁目 電話 四七〇番	平館 平市南町 電話 四六六番	産科婦人科 五十嵐醫院 平市新川町 電話 三六九番	高橋龜松
------------------------	---------------------------------------	----------------------------	------------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	------------------------------	--	-------------

久野電機工業所 平市二丁目九番地 電話 平七二番 振替東京三三〇番	阿康告知板 冬の病氣(シモヤケ、ヒビ)の預防は今から ① 肝油球 (LIVER OIL) ② 皮膚保護薬 ③ 感冒、セキ薬 右衛生資材準備に御利用下さい	阿康藥局 平市田町銀座街 電話 四四四番	米久 食堂 電話 五九〇番 平市三丁目一番地	少年の町」役場 鈴木 傳明 平市公會堂前 電話 六〇三番	福島縣指定事業重點工場 平硝子製作所 平木工製作所 社長 佐藤幸太郎 専務取締役 足助重雄 本社 平市新町二六 電話 七・四五五・七七一 東京事務所 東京都芝区新橋二ノ三(島森ビル) 電話 二九二・四八三番 工場 電話 二九二・四八三番 三八九・八三五・三五〇
---	--	-----------------------------------	-------------------------------------	--	---

在日本朝鮮人聯盟
 石城支店
 支部長 李 影
 平市田町一番地
 電話 一七四番